

# 釧路南ロータリークラブ会報

フライトスーツ寄贈 2021.5.7

## ◀ 地区補助金事業 ▶

地区補助金事業で市立釧路総合病院にフライトスーツを寄贈。

釧路南ロータリークラブ (奈良清成会長) は7日、新型コロナウイルスの流行が続く中、地域医療の充実に役立ててもらおうと、道東ドクターヘリの基地病院である市立釧路総合病院に、医師や看護師が着るフライトスーツ2着(約16万円相当)を寄贈した。

同クラブの社会貢献事業の一環で、同病院へのフライトスーツの寄贈は3回目。奈良会長は「コロナ禍で苦勞している医療関係者に感謝の気持ちを不すとともに、少しでも現場の力になれば」と話し、高平真院長にスーツを手渡した。高平院長は「地域の皆さんの応援が一番の励み」と述べ、感謝状を手渡した。

贈呈式では同病院のフライトナース斉勝敏さん(38)が実際にスーツを試着。「ストレッチ性のある素材で軽い着心地。機体の中は狭いので、動きやすいスーツはありがたい」と話していた。(服部貴子)

へり救急に役立てて  
フライトスーツ寄贈  
釧路南ロータリークラブ



高平真院長にフライトスーツを手渡す釧路南ロータリークラブの奈良清成会長(左)





